

6年生一般質問を傍聴

議会は手続き不要で、どなたでも傍聴できます。定例会日程については、ホームページをご覧ください。どうか、議会事務局にお問い合わせください。

12月5日、向陽小学校（校長 笹 慎）6年生55名が一般質問を傍聴しました。社会科校外学習の一環として実施されたもので、2班で構成された児童たちは、第1席と第2席の質問に熱心に耳を傾けていました。児童からの感想文を一部ご紹介します。



傍聴のルールに従い、静かに聞いている子どもたち



市議会をぼう聴して 6年1組 佐藤 修優さん

ぼくは、つがる市議会のぼう聴を通して、つがる市の議員の人達がつがる市のために会議を行っていることがよく分かりました。ぼく達は、防犯カメラの設置についての話を聞くことができました。子供達の安全のために、真剣に話し合っていました。行く前は、ぼく達にはあまり関係のない話をしていると思っていたけれど、ぼく達子供にとっても身近な話をしていることが分かりました。

ぼく達も、もっと真剣に学校のことについて話し合わなければならないと思いました。



子どもたちにも分かりやすい身近な質問が出ました



市議会をぼう聴して 6年2組 対馬 康太郎さん

ぼくは、初めて市議会をぼう聴して、つがる市を安全にするため、真剣に議員の方たちは考えていると知りました。今回の話し合いは「木が交通のじゃまをしているからどうすれば良いか」というものでした。たった一本の木なのに、そんなことが議題に出ているから、安全に対する意識が高くて、とても心強く感じました。

今、ぼく達が安全につがる市で暮らしているのは、つがる市のことを真剣に思う人がいるからだと思います。だから、ぼくも見習っているいろいろな課題に真剣に取り組もうと感じました。

行政視察受け入れ ～ようこそつがる市へ～

【米軍Xバンドレーダー配備について】

令和元年11月12日、
京都府京丹後市議会（会派、4人）

京丹後市ではつがる市に次いで全国で2例目となるXバンドレーダーが配備されており、視察では事業実施に至った経緯や課題など担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



京丹後市議会の皆さん